

愛知県委託
アルコール
健康障害対策
関連事業

体験談
(断酒会家族)

基調講演

講演

対談

アルコール依存症者の

家族にできること



©三森みさ(時事通信社)2020

「アルコール依存症と回復」

三森 みさ さん 漫画家・イラストレーター

「だらしがない夫じゃなくて依存症でした」(時事通信社)
「母のお酒をやめさせたい」(厚生労働省依存症啓発漫画)



「アルコール依存症と家族の”あいだ”」

真栄城 輝明 さん 心理学博士・臨床心理士

大和内観研修所所長
中国北西民族大学医学院特任教授



◆当日会場にて、お酒でお困りの方ご本人やご家族の方のご相談をお受けします。
会場受付へ30分前にお越しください。

感染予防対策に取り組んでいます。ご協力をお願いします。

(マスクの着用をお願い致します)

■ 入場 / 無料

※注) ●当日、体温が37.5度以上の方や体調不良(熱・咳・倦怠感・喉の痛み等)の方は入場をお断りする場合がございます。
●新型コロナ感染状況に応じて、止む無く中止することが御座います。開催のご確認は断酒会館へ電話して頂くかホームページお知らせ欄でご確認してください。

日時 令和4年

11/20 日

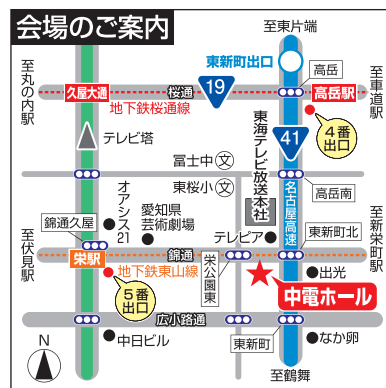
会場 中電ホール

名古屋市東区東新町 中部電力ビル内

- 栄駅5出口から徒歩約5分
- 栄町駅9B(セントラルパーク南側)出口から徒歩約5分
- 高岳駅4出口から徒歩約7分

■ 開場 / 11:30 ■ 開演 / 12:30~15:30

- 主催: 公益社団法人 全日本断酒連盟 / NPO法人愛知県断酒連合会
- 共催: 愛知アルコール連携医療研究会 ● 後援: 厚生労働省



この事業に関するお問合せは / NPO法人愛知県断酒連合会事務局・断酒会館 電話 052-824-1567まで

「愛知アルコール連携医療研究会」のご紹介

～アルコール関連問題の解決に連携の輪を～

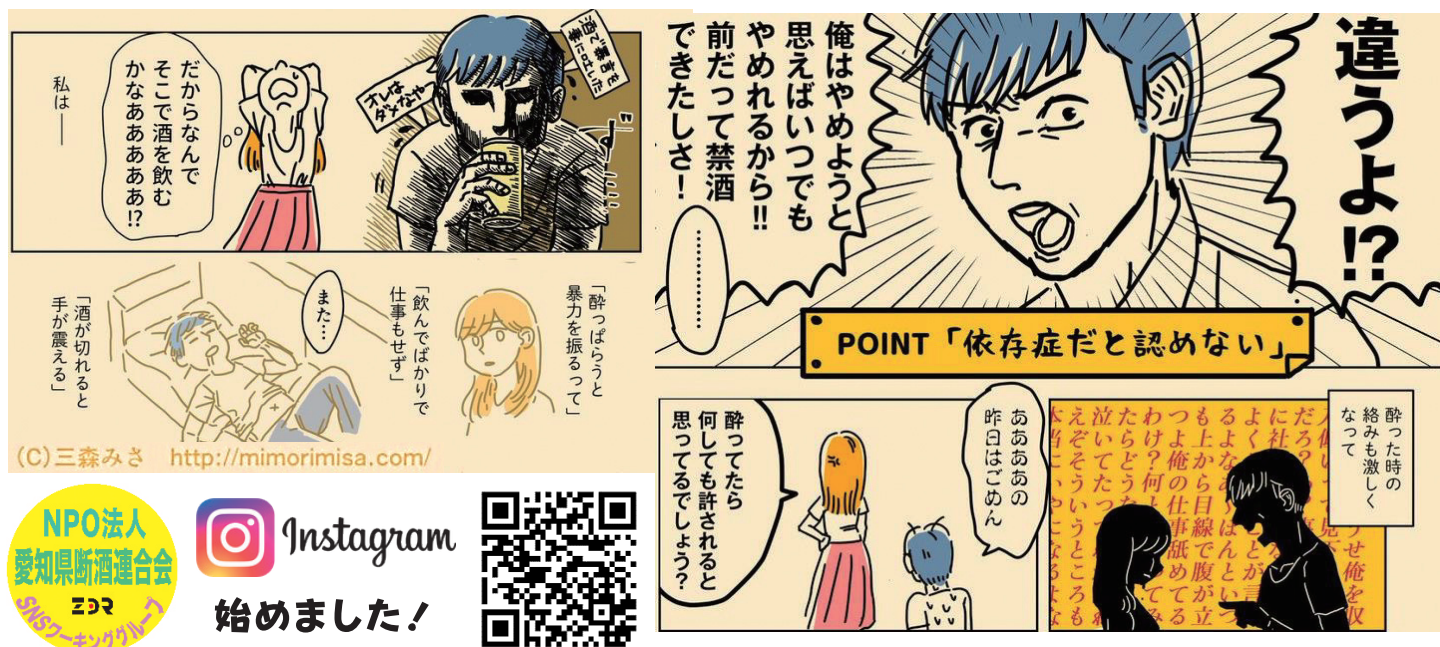
現在、日本においてリスクの高い飲酒者は1036万人、アルコール依存症者が107万人、アルコール依存症の疑いがある人が292万人と報告されています。アルコール依存症を含む問題飲酒者の多くは、まず一般診療所・内科医療機関を受診しアルコール関連疾患と診断されますが、早期の依存症の診断と専門医療機関への紹介・治療の遅れにより、臓器障害の悪化、事件や事故などのほかのアルコール関連問題を引き起こしている可能性も指摘されています。

「愛知アルコール連携医療研究会」は、それらの問題への対応のためにはアルコール専門医療機関と内科や外科などの病院・診療所の連携が必要であるとの認識から、平成18年3月2日発足しました。一般医療、専門医療、保健、福祉の現場関係者が集い、医療連携を推進し、アルコール依存症とアルコール性臓器障害の治療、援助の技術向上、諸研究の発展への寄与を目指しています。

アルコール依存症を多くの医療者に知っていただくために、愛知県断酒連合会をはじめ、自助グループの方々とも協力して、地域基幹総合病院での研究会や介入講座を開催してきました。また、医療系の学生さんや一般の方々も交えた架空事例によるグループワーク研修会を行うなど、活動を広げています。

ぜひ多くの皆様に関心をお寄せいただき、ご協力いただくことにより、アルコール関連疾患の早期治療開始と関連問題の予防につなげていきましょう！

愛知アルコール連携医療研究会代表 塚田 勝比古



「お酒の問題」で悩んでいませんか? ～NPO法人愛知県断酒連合会とは～

断酒会は、過去にお酒(アルコール)を原因としていろいろな問題を起こし、自らの意思でアルコールを断ち、精神的・社会的回復を目指す自助グループです。NPO法人愛知県断酒連合会には愛知県下27断酒会が加盟し、様々な機会を通じ飲酒運転の根絶などアルコール問題啓発活動を行っています。また、お酒でお悩みの方の相談に応じています。ぜひ、右記へご相談下さい。



★NPO法人愛知県断酒連合会 断酒会館

〒457-0047 名古屋市中区城下町1-12
電話:052-824-1567 FAX:052-824-7134
開館時間:午前9時～午後5時(年中無休)
<https://aichi-danshu.jimdofree.com>